

雪谷小学校改築事業 基本構想・基本計画(案)について

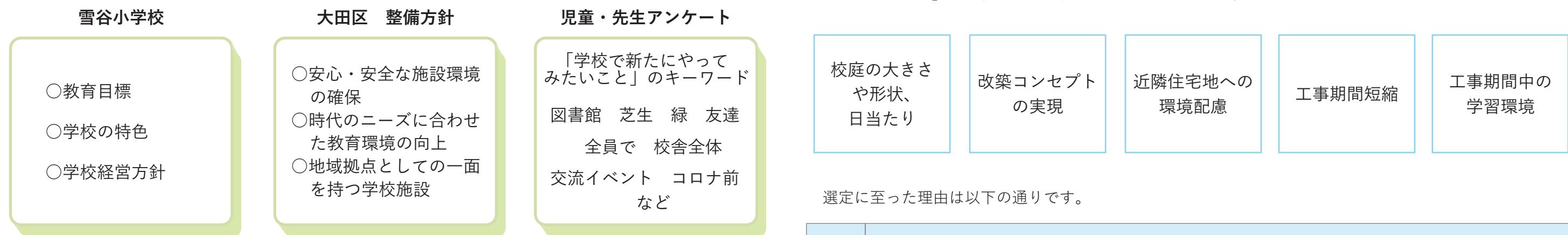
令和7年12月
大田区

1 基本構想・基本計画の策定に至る背景

雪谷小学校は、校舎の大半が築50年以上経過していること、隣地敷地を購入済みで改築時に仮設校庭や工事ヤードの確保が可能であること、周辺に大規模工事がないことから、改築を進めることとしました。

2 基本構想

雪谷小学校の特徴や教育目標、大田区の上位構想等との整合性を図りながら、児童・教職員のアンケートで寄せられた新しい雪谷小学校へのご意見をもとに、基本構想を作成しました。

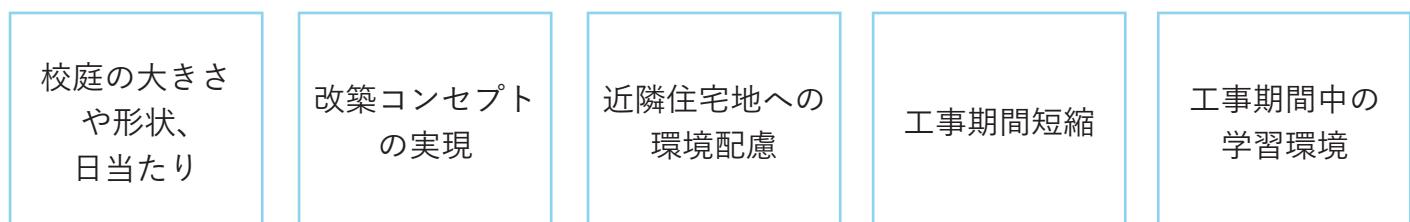


4 改築における前提条件及び方針

- 1 改築全体の工事期間短縮を前提とした上で、学校を運営しながら雪谷小学校敷地内の建替えを行う。
- 2 工事期間中は、体育館、校庭等が使用できない期間が発生しないよう、工事ステップを計画する。
- 3 改築後は、既存より広い人工芝の校庭と天然芝エリアを設け、プールは近隣施設を利用する。

5 現状の配置と改築後の配置案

上記の「4 改築における前提条件及び方針」を踏まえ、以下のような様々な視点から複数の「新しい雪谷小学校の配置案」を比較・検討し、配置案を選定しました。



選定に至った理由は以下の通りです。

- 1 校庭が南側に配置されるため、日当たりが良好である
- 2 改築コンセプトを最も効率的・効果的に反映できる
- 3 近隣への環境変化を抑えられる
- 4 校舎と体育館を一体で整備するので、工事期間が最も短く、児童への負担を抑えられる
- 5 コンパクトな校舎配置により、施設運営が行いやすい

現状の配置図



改築後の配置図

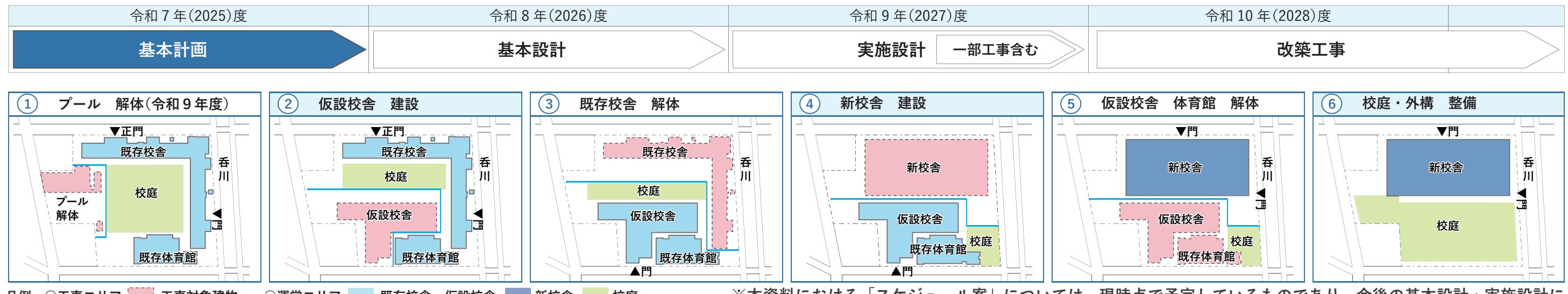


3 基本計画の策定にあたって

学校改築の基本的な考え方をまとめたため、大田区では、令和7年度より「雪谷小学校 学校改築懇談会」を設置し、具体的な検討に着手しました。

学校改築懇談会において、基本構想についてご理解いただき、意見交換やワークショップ等を活用し、協議・検討を重ねながら、基本計画の策定を進めてまいりました。

6 スケジュール案及び工事ステップ



※本資料における「スケジュール案」については、現時点で予定しているものであり、今後の基本設計・実施設計における詳細な検討に伴い、変更する可能性があります。

7 新校舎のゾーニング案

改築コンセプトを踏まえた各教室などのゾーニング案は、下記の図のとおりです。

